

おうじょ
王女と あか
赤ちゃん



せいしょ
聖書ミニワールド

古代エジプトの国であつたお話です。ある日のこと、小さなかごが、ナイル川の水面をただよっていました。

川の流れにゆっくりおされ、かごはゆらゆらと、エジプトの王女が水浴びにやって来る川岸に近づいて来ました。



やがてその小さなかごは、水辺の階段の下で止まりました。

王女の侍女が、一体何だろうと思って、かごに近づいて来ました。



このお話は、聖書の出エジプト記の1章8節から2章10節までをもとにしています。

エジプトでは、ヘブライ人がエジプト人のどれいとして、重労働を強いられました。れんがを作ったり、エジプト人のために建物を建設するなどの過酷な仕事でした。

ヘブライ人の数は、赤ちゃんが生まれるたびにどんどん増えていきました。エジプトの王様ファラオは、ヘブライ人のどれいがあまりにも増えて、そのうち反乱を起こすのではないかと心配しました。それで、ヘブライ人に生まれた男の赤ちゃんは一人残らず、川に投げこんでしまうようにと命令しました。

「^{いっ}体、^{なん}何なのかしら。」と、^{おうじょ}王女は ^{じじょ}侍女に ^い言いました。

「^{なに}何か ^{はい}入っているようです、^{おうじょさま}王女様。^な泣き声 ^きが聞こえます。
^{ちい}小さな ^{どうぶつ}動物か ^{なに}何かでしょうか。」と、^{じじょ}侍女が ^い言いました。



その ^{いっ}方で、^{わか}若い ^{しょうじょ}少女が ^{しげ}ヨシの ^{なか}茂みの ^{ようす}中から、その ^{しやうじょ}様子を
^{じつ}じつと ^{うか}うかがっていました。その ^{しょうじょ}少女は ^{じん}ミリアムという、ヘブライ人の
^{むすめ}どれいの ^{あか}娘でした。ミリアムは、^{ねえ}赤ちゃんの ^{お姉さん}お姉さんでした。



じ じょ ちゅう い ぶか みず なか はい
侍女は 注意深く、そうと 水の中に入りました。
かごに て 手を のばし、そと ふたを あ 開けてみると・・・なんという
ことでしょう、かごには、ちい ちい あか はい
小さな 赤ちゃんが 入っていたのです。



「まあ、何て かわいらしい 赤ちゃんだこと！ わたしを 見て、
わら 笑ったわ。」と、おうじょ
王女。

「何て よ 呼んだら いいかしらね？」と、おうじょ い
王女が 言いました。

「赤ちゃん、は どうでしょうか。」と、じ じょ
侍女。



「そうじゃ なくて、なまえ あか なまえ みず なか
赤ちゃんは、名前じゃ ないわ。水の中から
わたしが ひ あ
引き上げたから、モーセに しましょう。」と、おうじょ い
王女が 言いました。

ヨシの^{しげ}茂みに かくれていた ミアムは、^{おおよろこ}大喜びで この ^{ようす}様子を
見ていました。「神様、^{かみさま}赤ちゃんの ^{あか}弟を ^{おとうと}救ってくださって、
^{かんしゃ}感謝します！」

かみさま
神様は、
おとうと
弟のための ^{いの}祈りに
こた
応えて くださっているわ！



「さあてと。^{あか}赤ちゃんに ^{ちち}お乳を ^せあげて ^わ世話してくれる ^{ひと}人を見
つけないと いけないわね。」と、^{おうじょ}王女が ^い言いました。

すると、ヨシの^{しげ}茂みに かくれていた ^{しょうじょ}少女ミアムが、さっさと ^で出て
きて ^い言いました。「^{おうじょさま}王女様のために、^{あか}赤ちゃんに ^{ちち}お乳を やって
^せ世話してくれる ^うヘブライ人の ^ば乳母を さがして ^{まい}参りましょうか？」



あか
赤ちゃんの
せ わ
世話をしてくれる ^{ひと}人が
ひつよう
必要ね。

おうじょさま
王女様、
わたし、^う乳母を
し
知っています。

あか
赤ちゃんは、^{ちち}お乳が
ほしいはず。^{ちち}お乳は ^{あか}赤ちゃんに
いい ものだしね。ぼくも、
^すミルクが 好きだにゃ！

まもなくすると、ミリアムは お母さんの ヨケベデと いっしょに もどって
来ました。そして 王女は ヨケベデに、赤ちゃんの モーセの 世話を
頼んだのでした。

王女は 言いました。「わたしのために、この 赤ちゃんの 世話を
お願いします。赤ちゃんの 名前は、モーセです。毎日 王宮に 来て、
わたしを 手伝ってください。」



ケロツ！

何と すばらしい、神様の 奇跡的な 保護でしょうか！
赤ちゃんの 命が 救われたばかりか、赤ちゃんの 本当の
お母さんが、王女の 保護の もとで、赤ちゃんを 世話するようと
頼まれたのですから。

ヨケベデは 数年間、王女に 代わって
赤ちゃんの モーセの 世話を しました。
ミリアムも、母親と いっしょに よく 王宮へ
行き、弟の 世話を 手伝いました。

王女は ヨケベデに 親切でした。
そして、養子にした モーセを 心から
愛してくれました。

モーセは 成長し、ファラオの 王宮で、
王子としての 訓練を 受けます。神様は
将来、モーセが 大人に なったら、
モーセの 仲間である ヘブライ人を どれいの
身分から 救い出すと いう、特別な
任務を 計画して おられましたが、
それは また 別の お話に なります。...



ネコには 今、ステキな
ベッドが あります。そして、
ミルクを 飲んだり、
モーセと 楽しく 遊び
回ったり したのでした。

愛してるわ、
わたしの かわいい
モーセ！



本文・製作・デザイン：ディディエ・マーティン

出版：マイ・ワンダー・スタジオ Copyright © 2018年、[ディディエ・マーティン](#) 使用許諾取得済

“Bible MiniWorld: The Princess and the Baby”--Japanese

関連の読み物はこちら ⇒ 聖書、子供のための聖書物語、神の偉大な人々